

第 68 回評価監視委員会の開催について

第 68 回一般財団法人建設物価調査会評価監視委員会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

開催日時	2023 年 2 月 28 日（火）14：00～16：15	
開催場所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
出席委員 (五十音順)	鵜飼 誠（委員長（元会計検査院 第 1 局長）） 斎尾直子（東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 教授）《新任》 佐藤 淳（東邦監査法人 代表社員、公認会計士） 白戸 智（株式会社三菱総合研究所 スマート・リージョン本部 主席研究員） 高橋省三（一般社団法人自動車公正取引協議会 参与 名古屋経済大学 法学部 教授） 宮本和明（パシフィックコンサルタンツ株式会社 社会イノベーション事業本部 技術顧問）	
当会	共通資材調査部 大澤 勝、小林法雅、名嘉佳太 第二土木調査部 上田浩嗣、沖田智紀、黒崎森人 調査統括部 柴尾 治、平野光芳 監査審査室 今井 豊、吉田光正、勝井 治	
審議案件	案件	備考
	(定期調査) 異形棒鋼 [東京]	「建設物価」2022 年 12 月号 16 ページ 掲載価格について、調査結果記録票、調査結果集計表等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
	(受託調査) 局舎 [熊本県阿蘇郡]	受託調査について、調査票、調査報告書等に基づき、調査方法、調査プロセス等を説明
委員からの主な意見・質問 それに対する調査会からの回答等	別紙のとおり	
委員会による指摘 (不適切な点又は改善すべき点)	なし	

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>1. 定期調査について 異形棒鋼（東京）</p> <p>○異形棒鋼の形状の差異は価格に影響するの か。</p> <p>○鉄スクラップについて国内品と輸入品の比率 はどれくらいか。</p> <p>○電力料金の上昇は、異形棒鋼の販売価格にど の程度、転嫁されたのか。</p> <p>○建築用の汎用規格、土木用の汎用規格はある のか。</p> <p>○鉄スクラップの回収率はどのくらいか。</p> <p>○異形棒鋼の輸入品はあるのか。</p> <p>○「需要家」とは具体的には誰を想定してい るか。</p> <p>○「鉄筋用小形丸鋼」と「異形棒鋼」の価格が異 なる理由はあるのか。</p>	<p>○形状の差異は価格には影響しない。</p> <p>○ほとんどの鉄スクラップは国内で発生してお り、輸入品は基本的にはない。</p> <p>○昨年 11 月から、メーカー各社は電力料金の上 昇を主要因として値上げを実施したが、現時点 では、値上げ額の半分程度は浸透したと認識し ている。</p> <p>○一般的に、建築用は SD295 及び 345 の呼び径 D13、D16、土木用は SD345、390 及び 490 の呼 び径 D35 以上が汎用規格と認識している。</p> <p>○回収率は具体的には把握していない。</p> <p>○輸入品はほとんどないと認識している。</p> <p>○総合工事業者を想定している。</p> <p>○「鉄筋用小形丸鋼」と「異形棒鋼」ではメーカ ー数が異なるため、価格は異なる。「鉄筋用小 形丸鋼」のメーカー数はかなり少ない。</p>

別紙

意見・質問	説明・回答
<p>2. 受託調査について 局舎</p> <p>○発注者の調査の依頼目的及び報告価格の使用 方法は何か。</p> <p>○資料にある「商社兼需要家」とは何か。</p> <p>○「需要家」は、局舎を購入して自社で使用する のか。</p> <p>○メーカー間で局舎のスペックに幅があり、価 格に乖離が生じた場合、調査会はどのように 対応するのか。</p> <p>○現場での据え付け作業は誰が行うのか。</p> <p>○据え付け費は報告価格に含まれているのか。</p>	<p>○発注者は当該工事の予定価格算出に使用して いる。</p> <p>○物件により、商社又は需要家にもなり得る会 社である。</p> <p>○元請業者として施工を行っている。</p> <p>○ヒアリングにより詳細を確認してから発注者 と協議し、最終的には発注者の了解を得た調 査条件に沿って調査を実施する。</p> <p>○据え付け作業は工事業者が行っている。</p> <p>○本調査は資材価格調査のため、据え付け費は 含んでいない。</p>
<p>3. 次回開催日について</p> <p>○次回評価監視委員会は、2023年6月下旬に開催予定。</p>	